

第2回門真市総合計画審議会での主な意見と対応

資料1

番号	主な意見	資料3 頁	項目	対応	
				修正前	修正後
1	「子育て」に関する記載はあるが、「出産」に関する記載がないことに違和感がある。「出産」と「子育て」は一連なので、「出産」に関する内容を記載してもよいのではないか。	10	01 人口減少時代の突入 人口減少社会においても～	こうした人口減少社会において、将来にわたり必要な住民サービスを維持していくためには、若い世代や子育て世代の定住を促進し、バランスのとれた年齢構成を実現していく必要があります。	こうした人口減少社会において、将来にわたり必要な住民サービスを維持していくためには、若い世代や子育て世代の定住を促進し、 <u>それぞれの希望に応じて子どもを産み育てられる環境を整備し、</u> バランスのとれた年齢構成を実現していく必要があります。
2	災害等に関する記載の中に、近年トピックとなっている「感染症」や「猛暑」に関して記載してもよいのではないかな。	14	03 まちづくり 安全・安心に対する意識の高まり	近年、災害の激甚化・頻発化により、甚大な被害が多く発生しています。猛暑や大雨・短時間強雨などの異常気象によって深刻な気象災害が毎年のように発生し、今後も温暖化の進行により状況は激化していくと予想されています。また、南海トラフ巨大地震など、大規模な自然災害の発生が懸念される中、誰一人取り残さないための災害対策が必要です。	近年、災害の激甚化・頻発化により、甚大な被害が多く発生しています。令和6（2024）年1月には能登半島沖地震が発生、8月に発生した日向灘を震源とする地震に伴い「南海トラフ地震臨時情報」が発表されたことなどにより防災意識がより一層高まっています。 また、災害級の猛暑による熱中症患者の増加や豪雨や短時間強雨などによる家屋等への浸水など異常気象による市民生活への深刻な影響があります。被害を未然に防ぐ又は最小限とするため、誰一人取り残さない災害対策が必要です。 令和2（2020）年から令和5（2023）年に感染拡大した新型コロナウイルス感染症は、社会経済・市民生活に大きな影響を与えました。今後、新たな感染症への危機対応では、国と地方公共団体の適切な役割分担が重要となることから、感染症に関するデータや情報の円滑な共有・分析等のため、平時から国と地方公共団体の連携体制・ネットワークの構築が求められます。
3	災害時の備えや他市との連携等について、記載してもよいのではないかな。	14	03 まちづくり 安全・安心に対する意識の高まり	災害や犯罪に強いまちづくりをさらに推進するため、市役所や市民、地域、事業者、消防、警察などが連携し、一体的に防災・防犯対策を進めていくことが求められています。	災害や犯罪に強いまちづくりをさらに推進するため、市役所や市民、地域、事業者、消防、警察、 <u>また必要に応じて近隣市等との連携を図り、</u> 一体的に防災・防犯対策を進めていくことが求められています。
4	現在進めている門真市庁舎の建替えについて、記載してもよいのではないかな。	15	03 まちづくり インフラの老朽化対策	本市においても、安全面からの早急な老朽化対策はもちろんのこと、長期的視点をもったサービス提供を実施しつつ、維持し続けられる最適な施設総量に再編するため、令和6（2024）年3月に門真市公共施設再編計画を策定しました。今後においても、市民が利用しやすい、利用し続けられる施設への再編、新しい技術の活用による維持管理の効率化、また耐震化・長寿命化など、様々な対策が求められています。	本市においても、安全面からの早急な老朽化対策はもちろんのこと、長期的視点をもったサービス提供を実施しつつ、維持し続けられる最適な施設総量に再編するため、令和6（2024）年3月に門真市公共施設再編計画を策定しました。 災害時の拠点となる庁舎エリアについては、防災性の向上や居住環境の改善を図るため市街地の再整備に取り組み、現在、防災機能を有する広場の整備及び老朽化した市庁舎の建替えを進めているところです。 今後においても、市民が利用しやすい、利用し続けられる施設への再編、新しい技術の活用による維持管理の効率化、また耐震化・長寿命化など、様々な対策が求められています。
5	高齢者の孤独・孤立が社会問題化している。市民意識調査でも、地域のつながりが減少しているという結果が出ているので、人と人のつながりを持つことの重要性等を記載してもよいのではないかな。	24	10 地域コミュニティづくりと協働・共創の推進	核家族化や少子高齢化、ライフスタイルの多様化が進行しているなか、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、地域の担い手不足に加えて、人と人とのつながりがますます希薄化しており、防犯、防災、子育て、介護などにおける地域の支え合い・助け合いの機能が低下することが懸念され、地域コミュニティの維持や活性化が重要となっています。	核家族化や少子高齢化、ライフスタイルの多様化が進行している中、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、地域の担い手不足に加えて、人と人とのつながりがますます希薄化しています。防犯、防災、子育て、介護など多方面における地域の支え合い・助け合いの機能が低下することが懸念されており、 <u>人と人とのつながりを実感できる地域づくりや地域コミュニティの維持・活性化が重要となっています。</u>
6	地域コミュニティの中心的役割を担う社会福祉協議会やNPO法人等について、記載してもよいのではないかな。	24	10 地域コミュニティづくりと協働・共創の推進	一方で、成熟社会を迎える中で、地域社会における様々な分野で活動の場を拡げたり、市役所と協働でまちづくりや地域づくりを進めたりするなど住民のまちづくりへの参画意識が高まっており、新たな住民自治の仕組み作りが進んでいます。	一方で、成熟社会を迎える中で、市役所と協働でまちづくりや地域づくりを進めたりするなど住民のまちづくりへの参画意識が高まっており、新たな住民自治の仕組み作りが進むとともに、 <u>社会福祉協議会や市民公益活動団体など地域で活動する団体による地域づくりも進んでいます。</u>

番号	主な意見	資料3 頁	項目	対応	
				修正前	修正後
7	市の取組に関する記載について、「門真市公民連携デスクの設置」だけではなく、基本構想期間（～令和11年度）の将来を見通した書き方をすべきではないか。	24	10 地域コミュニティづくりと協働・共創の推進	本市においても門真市自治基本条例を制定し、市民との協働による取組に加えて、門真市公民連携デスクを設置し、地域企業等の民間事業者との共創によるまちづくりを推進してきました。今後においても、協働・共創の推進による地域の活性化が求められています。	本市においても門真市自治基本条例を制定し、市民との協働による取組に加えて、門真市公民連携デスクを設置し、地域企業等の民間事業者との共創によるまちづくりを推進してきました。今後においても、協働・共創を推進し、 <u>多様な主体とともに地域課題の解決、ひいては新たな価値の創出に取り組み、地域を活性化することが求められています。</u>